HUROM®

ヒューロム スロージューサー

HU-400

取扱説明書

一般家庭用

この度は、ヒューロム　スロージューサーを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本製品を正しい方法で安全にご使用いただくために
  必ずご使用前に本説明書をお読みいただけますよう
  お願いいたします。
  以後、ご使用についてのご不明な点を
  ご確認いただく時のために本取扱説明書は
  紛失なき場所に保管いただけますようお願いいたします。

- 本製品の仕様は、品質向上のために予告なく
  変更される場合がございます。
  あらかじめご了承ください。

HUROM®

HUROM スロージューサーをご購入されたお客様へ

ヒューロム　スロージューサーは、特許(※)を取得したLSTS方式（低速圧縮搾汁方式）を採用しております。 豆乳、野菜ジュース、フルーツジュースをはじめ、葉もの野菜等にもお使いいただくことができます。

※日本特許番号　　特許第4580408号

ご使用前に本取扱説明書をお読みいただき、十分にご使用方法をご理解いただき、お使いいただけますようお願いいたします。万一、ご使用中に本製品が正常に作動しなくなった場合はあらためて本取扱説明書　ご覧いただけますようお願いいたします。
本取扱説明書にないご使用方法にて怪我や本製品の破損等発生した場合は、当社としては一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

CONTENTS 目次

ヒューロムスロージューサーをご購入されたお客様へ ---------- 01
本製品の構成内容および付属品について ---------- 02
正しく安全なご使用のための注意事項 ---------- 03
組み立て方法 - Type ① ---------- 06
組み立て方法 - Type ② ---------- 07
組み立て方法（Type ① & Type ②） ---------- 09
本製品のご使用方法 ---------- 10
ご使用中の注意事項 ---------- 11
ご使用後の分解、洗浄およびお手入れ ---------- 12
本製品の故障やトラブルついてお問い合わせの前に ---------- 13
製品仕様 ---------- 14
保証書 ---------- 15
豆腐用型のご使用方法 ---------- 16

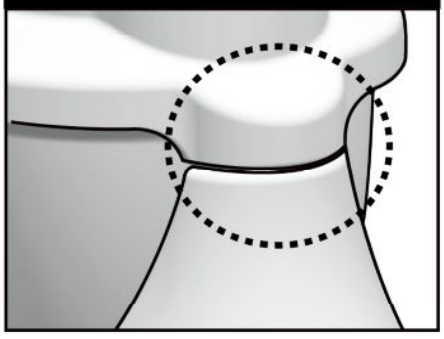
本製品の構成内容および付属品について

付属品

押し棒（1個）	ドラム（1個）
ドラムキャップ（1個）	本体（1個）
スクリュー（1個）	押し板（1個）
ストレーナー自動洗浄ホルダー（1個）	豆腐用型（1個）
ストレーナー （1個）	受け容器（2個）
	洗浄ブラシ（1個）

注意事項

イラストのように、本体とドラムキャップを正しく合わせてご使用下さい。正しく合っていない場合、本体内部の安全スイッチは作動せず、ご使用いただくことができません。



⚠ 正しく安全なご使用のための注意事項

- 使用前に「正しく安全なご使用のための注意事項」を必ずお読み下さい。
- 本項記載内容を必ずお守り下さい。

注意事項は以下の通り区分しております。

警告 **表示事項を守らなかった場合、深刻な怪我や死亡の可能性がございます。**

注意 **表示事項を守らなかった場合、怪我や製品の破損、故障の原因となる可能性がございます。**

この記号は危険を及ぼす内容を表示した記号です。イラストの中に具体的な注意内容が書かれています。

この記号は禁止行為を表示する記号です。イラストの中や周辺に具体的な禁止内容が書かれています。

この記号は行動を規制したり指示する内容を表示した記号です。イラストの中や周辺に具体的な指示内容が書かれています。

⚠ 警告

濡れた手でプラグを差し込んだり外さないで下さい。

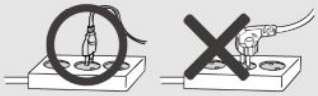
感電や怪我の原因になります。

電源プラグはコンセントに正確に差し込んで下さい。

感電、火災の原因になります。

交流100V以外には使用しないで下さい。

感電、火災、故障の原因になります。



電源コードを無理に曲げたり結んだり、傷つけたり、引っ張ったり、高温の場所に置かない。

電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。

⚠ 正しく安全なご使用のための注意事項

⚠ 警告

絶対に改造しないで下さい。
また、製造技術者以外の方は
分解したり修理しないで下さい。

火災、感電、傷害の原因になります。
故障の際は販売店またはサービス窓口
へご連絡下さい。

電源コード、プラグの破損/損傷
コンセントの差し込み箇所が緩んだ
状態の場合は使用しないで下さい。
電源コードの交換などはしないで下
さい。

感電、漏電、火災、故障の原因にな
ります。

本体の隙間や穴に指や棒などの
異物を入れないで下さい。

火災、感電、怪我、故障の
原因になります。

本体を水につけたり、本体に水を
かけないで下さい。

感電、漏電、火災の原因になります。
本体が濡れた場合は、直ちに使用を中断し
販売店またはサービス窓口にご連絡下さい。

お子様の手が届く場所でご使用
しないで下さい。
また、お子様やお取扱いに不慣
れな方は一人でのご使用はしな
いで下さい。

お子様が誤った使用をした場合、
故障の原因となります。

本体外装部を清掃する際
ベンジンや合成洗剤、漂白剤な
どを使用されると、破損や故障
変色の原因となります。

火災、感電、怪我、故障の
原因になります。

⚠ 注意

本製品は平らで安全な場所で
ご使用して下さい。

怪我や故障、破損の原因になります。

汁排出口には、箸、スプーンな
どを絶対に入れないで下さい。

怪我や故障、破損の原因になります。

⚠ 正しく安全なご使用のための注意事項

⚠ 注 意

電源コードの上に重い物を
のせないようにして下さい。
感電、漏電の原因となります。

怪我や故障の原因になります。

ご使用中にスクリューの回転が停止した場合「逆回転」ボタンを2～3秒押した後「順回転」ボタンを押して下さい。

ご使用中に、ドラムセットまたは部品を分離したり取り付けないで下さい。

怪我や故障の原因になります。
必ず停止させて、電源を抜いた後に
分離または取り付けを行って下さい。

投入口に材料を入れる場合
押し棒以外の物で
押し込まないで下さい。

怪我や故障の原因になります。

連続30分以上のご使用はしないで下さい。

モーターの過熱など、故障の原因になります。

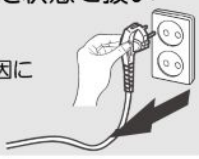
再作動は、５分間程度の間隔を空けてご使用下さい。

本製品に激しい衝撃を与えたり落とさないで下さい。

感電、破損、火災、怪我の原因になります。

ご使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜き取って下さい。また、プラグを抜く時は必ずプラグを掴んだ状態で抜いて下さい。

怪我や感電、火災の原因になります。



異臭、異音、過熱、発煙が発生した場合、直ちに使用を中断し購入した販売店またはサービス窓口へ問い合わせて下さい。

火災、感電、怪我、故障の原因となります。

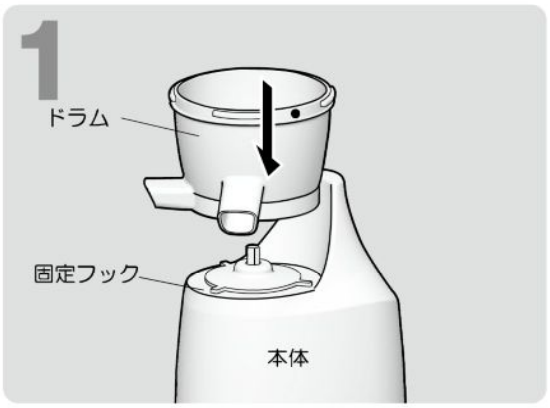
本体は約6.2Kgです。本体を移動する場合は必ず両手でしっかりと持って移動して下さい 。
(ドラム装着時重量)

ドラムや本体側面などを、片手で
持って移動した場合、本体が落下し
怪我や故障、破損等の原因になります。

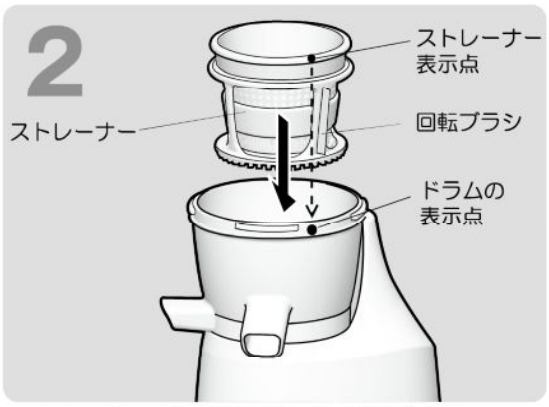
80℃以上の温度で蒸したり洗浄しないで下さい。

故障、変形の原因になります。

組み立て方法-Type① 本体部品の組み立て方



ドラムを本体に取り付けます。



ストレーナーをドラム内に取り付けます。

イラストのようにドラムの表示点に
ストレーナーの表示点を合わせるように取り付けます。

**スクリューをストレーナーの中央に
押し込みます。**

ドラムキャップを組み立てます。

イラストの様にドラムキャップを
時計回りに回転させてしっかりとロックさせます。

***分解は組み立ての逆の順序にて行います。**

組み立て方法-Type②ドラムセットの組み立て方

1

ストレーナー自動洗浄ホルダーに
ストレーナーをはめ込みます。

2

ストレーナー 自動洗浄ホルダーを取り付けた
ストレーナーをドラムと組み合わせます。

イラストのようにドラムの表示点と
ストレーナーの表示点を合わせて組み立てます。

3

ドラムセット中央にスクリューを
はめ込みます。

組み立て方法-Type②ドラムセットの組み立て方

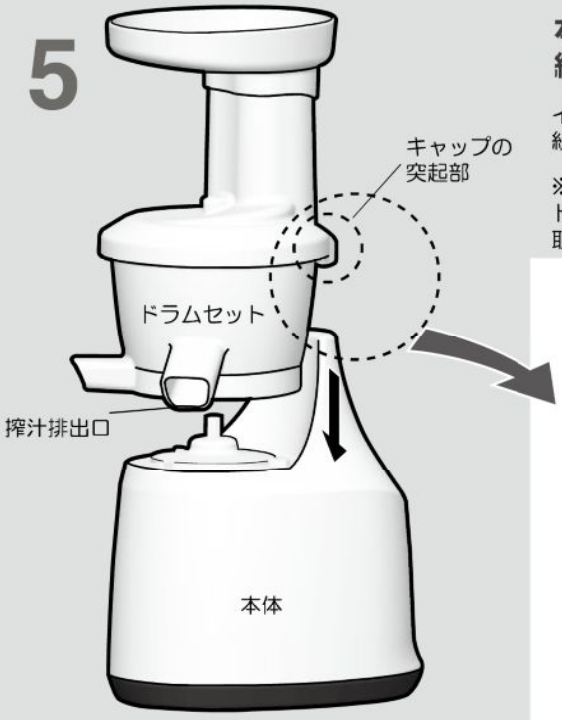
4

ドラムキャップを組み立てます。

①イラストのようにドラム表示点とドラムキャップ表示点を合わせてはめ込みます。

②イラストのようにドラムキャップを時計回りに回転させてロックします。

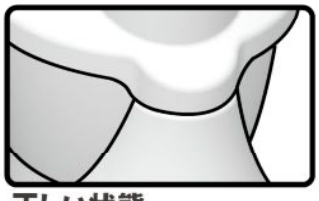
5



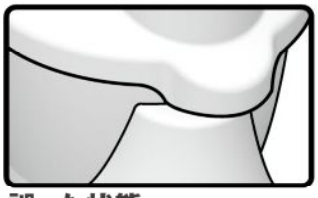
本体とキャップを取り付けたドラムセットを組み立てます。

イラストのように本体の上部に合わせて組み立てます。

※本体にドラムセットをうまく取り付けできない場は
ドラムセットを軽く左右に回転させるようにすると
取り付けることができます。



正しい状態



誤った状態

組み立て方法-Type① &Type②

6

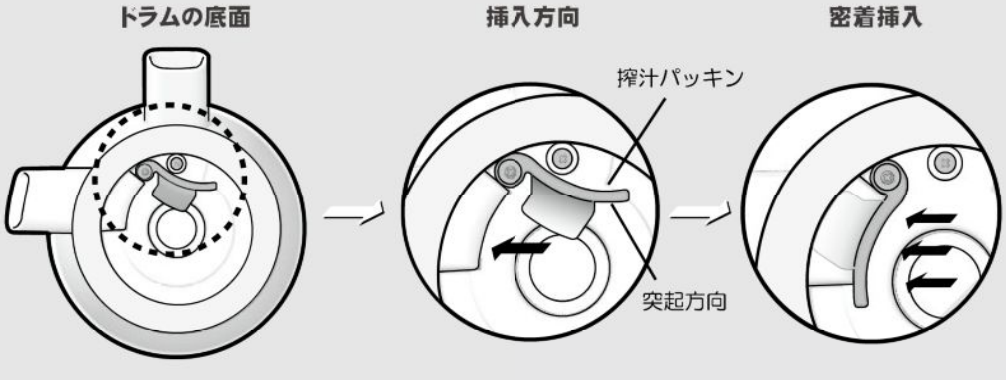
受け容器をそれぞれ置きます。

イラストのように搾汁受け容器と固形成分
受け容器をそれぞれおきます。

※ドラムの2か所の排出口からは
素材の液体状または固形状の成分が
選別されて排出されます。

搾汁パッキンのお取り扱いについて

搾汁パッキンを取り外して洗浄される場合は、必ずイラストの方向に挿入して下さい。



本製品のご使用方法

1

操作スイッチのON(順回転スイッチ)を押し込みます。

ー ON（順回転）：材料を本体下部方向へ
スライドさせながら搾汁します。
ー REV（逆回転）：材料を本体上部に押し上げます。

⚠ ご注意

濡れた手でスイッチを操作しないで下さい。
ー 感電、ショート、火災等の事故原因となります。

スイッチ周辺に食材等の異物を付けた状態での使用はしないで下さい。
ー 故障、ショート等の原因となります。

2

洗浄された材料を投入口に入れ押し棒で押し込んで下さい。

- 材料はできるだけ新鮮なものをご使用下さい。
- 固めの材料をご使用いただく際は、適度な大きさにカットしてから投入下さい。
- 柿や梅など、大きめの硬い種を持つ材料をご使用される場合は、必ず種を取除いてご使用下さい。
  - 故障や破損の原因となります。

3

搾汁を終えたら、必ずスイッチをOFF(停止)にして下さい。

ー けがや感電、故障の原因となります。

⚠ ご注意

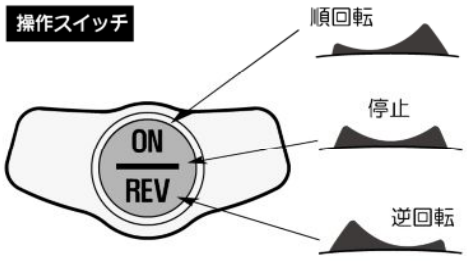
搾汁後のジュース等は長期保存しないで下さい。
脱穀、穀物類の使用はしないで下さい。

-破損、故障等の原因となります。

ご使用中の注意事項

30分以上連続使用しないで下さい。	加熱等、モーターの故障原因となります。 連続でご使用いただく場合、一旦停止後5分以上間隔を空けてからご使用下さい。
絶対に使用中に排出口に箸やスプーン等を入れないで下さい。	回転中のストレーナー自動洗浄ホルダー等に挟まり、破損や故障、けがの原因となります。
絶対に押し棒以外のもので材料を押し込まないで下さい。	スクリューに接触し、破損や故障、けがの原因となります。
穀物類や硬い種が入っている材料をそのまま使用しないで下さい。	ドラム、スクリュー、ストレーナーなどの破損や故障の原因となります。 柿や梅などのような大きく硬い種が入っている材料は必ず種を取り除いた状態でご使用下さい。

使用中にスクリューが停止した場合



※ 逆回転は、指を離すとスイッチが自動的に停止位置になり 作動が停止します。

- ご使用中に動作が停止した場合、直ちに操作スイッチを停止位置にし、逆回転スイッチを押して、スクリューまたはドラム内部に詰まっている材料を上方向へ戻し、その後順回転スイッチを押して下さい。
  一度でスムーズに回転しない場合は、これを数回繰り返して下さい。この作業をする際は、逆回転の動きが完全に止まったのを確認した後に順回転スイッチを押して下さい。
- 上記作業をしても動かない場合は、一旦電源を抜きドラムセットを洗浄（分解の上）した後ご使用下さい。

  - 使用後の分解と洗浄（P12参照）

⚠ ご注意

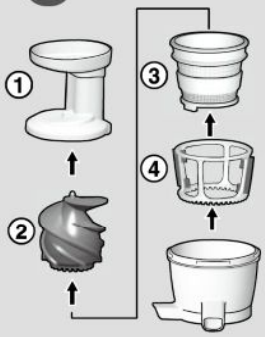
- 搾汁されたジュース等は、長期保存しないで下さい。
- スイッチに水や異物が入らないようにご注意下さい。
  - 感電や故障、ショートの原因となります。

ご使用後の分解、洗浄およびお手入れ

1 操作スイッチを停止させた後
電源コードを抜いて下さい。

2 搾汁排出口、ドラムを 持ち上げて
本体から外します。

3 組み立て方法と逆の順序で各部品を
取り外して下さい。



①ドラムキャップを反時計方向に
回して取り外して下さい。

②スクリューを取り外して下さい。

③ストレーナーを取り外して下さい。

④ストレーナー自動洗浄ホルダーを
取り外して下さい。

使用後直ぐに洗浄しない場合
汚れが乾燥し十分な洗浄をする
ことが出来なくなります。
性能低下の原因になることが
ございますのでご注意下さい。

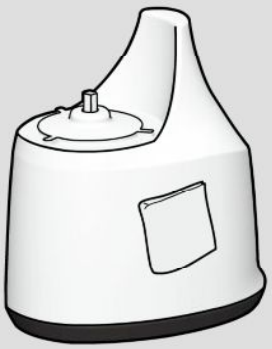
4 取り外した各部品は、掃除ブラシを使用して
内側を綺麗に水で洗浄して下さい。

禁止

洗浄時に金属たわし、研磨剤、合成洗剤、かたく
尖った掃除用具などを使用しないで下さい。

食器洗浄機、食器乾燥機に入れないで下さい。

5 絶対に本体を水で洗浄しないで下さい。
しっかりと絞ったタオルや、やわらかい
布などで汚れを拭き取って下さい。



6 お手入れが完了した後、各部品を完全に
乾かしてから清潔な場所にて保管して下さい。

本製品の故障やトラブルついてお問い合わせの前に

販売店またはサービス窓口にご相談いただく前に下記内容をご確認ください。

動かない	電源コードがしっかりと差し込まれているかご確認下さい。 本製品の組み立て方法を順序通り正しく行ったかご確認下さい。 （参照6p、7p、8p、9p）
汁がよく搾れず 残った固形成分の 水分が多い	搾汁パッキンがしっかりと差し込まれているかご確認下さい。 ※9ページの「搾汁パッキンのお取り扱いについて」をご確認下さい。 新鮮ではない材料をご使用になられていませんか？ ※ 冷蔵庫に長期間保管され、鮮度が落ちてしまった材料は 水に10分以上浸してからご使用ください。
使用中に動作が 停止した	大量の材料を入れていませんか？ 硬い種を含む材料を入れていませんか？ ※「逆回転」スイッチボタンを2~3秒押した後 順回転スイッチを押して下さい。それでもスクリューが 回らない場合は、使用を中止してドラムセットを分解し 洗浄後、もう一度使用して下さい。
汁を搾る時に “ピッピッ”と音が出る	汁を搾る材料により音が出る事があります。 ※材料同士がぶつかり合う音であり、性能には影響ございません。
使用中にドラムが 振動する	作動時ドラムが若干振動するのは、正常な動作です。 ご安心下さい。
使用中にドラムが 振動する	本体に装着した状態でトレーの下部分を掴み 軽く力を入れて反時計回りに回して下さい。

製品仕様

製品規格

製品名		ヒューロム　スロージューサー
モデル名		HU-400
定格電圧		100 V
定格周波数		50 / 60 Hz
定格消費電力		150 W
スクリュー回転数		70 / 80回／毎分
コード長さ		148 cm
モーター		単相誘導モーター
ヒューズ		125V 5A
重さ（ドラム装着時）		6.2 Kg
外形寸法（ドラム装着時）	幅(W)	160 mm
	長さ(L)	233 mm
	高さ(H)	405 mm
定格使用時間		30分以下

保証書

製品名	ヒューロム	モデル名	HU-400
製造番号		ご購入日	
購入店		お客様氏名	
住　所		電話番号	

1. この保証書は取扱説明書・警告・使用上の注意にしたがった
正常なご使用状態で故障した場合にのみ、本書記載内容に
基づき、お買い上げ後１年間、保証対象部分に限り無償にて修理または
交換いたしますことをお約束するものです。

2.保証期間内に故障し、無償の修理を受ける場合には、本製品に保証書を添付の上
サービス窓口に送付頂けますようお願いいたします。

3.保証期間内でも以下の場合は有料修理とさせていただきます。
1）使用方法の誤りおよび不適当な修理や改善による故障や損傷。
2）一般家庭外のご使用による故障や損傷
3）お買い上げ後の移動・搬送・落下・水没等による故障や損傷。
4）使用電源の異常や接続機器の不良による故障や損傷。
5）部品の過度の消耗による故障や損傷。
6）火災・地震・水害その他天災地変による製品の故障または欠陥。
7）本証書にお買い上げ日・お客様ご氏名・販売店名のない場合、あるいは
字句が書き換えられた場合。

4.当社のサービスをお求めの場合は、サービス窓口へご連絡下さい。

品質保証期間

	品質保証期間	
	１年（一般家庭用に限り）	

総輸入・販売元：HUROM 株式会社
サービス窓口：東京都港区六本木３丁目4番11
光建ハイムプリリアンス　106号
フリーダイヤル：0120-288-859
E-mail　：info-hurom@a9j.jp
受付時間：（月～金）10：00～12：00
13：00～18：00

豆腐用型のご使用方法

家庭でもできる豆腐作り

●材料（豆腐1丁分）

大豆（360g）、にがり、水

●用意したい道具

豆腐用型（ジューサー同梱）、絞り用のガーゼ、豆腐用型に敷くろ過用のガーゼ、大きめの鍋、ボウル、ざる、お玉、ヘラ、バットなど

●作り方

①大豆を洗って、一晩水につける
大豆を水で洗い、鍋に入れ、大豆の体積の約2倍の水につける。目安としては15～16時間。
大豆は水を吸収すると約2倍に膨れ上がるので、大豆は鍋の半分以下の量にする。

②大豆をスロージューサーにかける
大豆をザルにあけ、水を切る。大豆に1.5倍の水を加えたものを、ジューサーにかける。

③煮る
②を鍋に移し、加熱する。火が通るとあふれ出すので、いったん火をとめて、落ち着かせる。
その後、弱火で6～8分加熱する。

④絞る
③を、絞り用のガーゼでこす。
こした液体部分が豆乳、こし袋の中の固形部分がおから。

⑤にがりで固める
豆乳を鍋に入れ、にがりを加える。にがりは、豆乳1リットルに対し、約8～10cc。
次に、ヘラなどで泡が立たないように、とろみがつくまでゆっくりとかき混ぜる。
その後、15分間放置しておく。

⑥豆腐用型に移す
型にろ過用のガーゼかさらしを敷く。型の内側部分にしっかり沿うようにする。あとで型の上面をつつむので、少し大きめのガーゼなどにすること。次に豆乳のかたまりを型に移し、ヘラで表面を平らにならす。そして、型からはみ出しているガーゼなどで、上面を覆い、豆腐用型のフタを乗せる。

⑦重しをのせる
型のフタの中央に、重しがわりに水を入れたコップ等を中央に置く。
型の下から余分な水分が出てくるので、型はバットなどの上におくとよい。
15分ほどすれば、もめん豆腐が出来上がる。

日本豆腐協会（Japan Tofu Association），インターネット
http://www.tofu-as.jp/index.html　（2011/10/1引用）

MEMO

MEMO

HUROM®

HUROM®

MH40JAH0QC-A1-111216